

品川区幼稚園の今後のあり方検討PT第1回 議事録

日 時	令和3年8月17日(火) 13:30~15:30
会 場	261 会議室
出席者	柏原会長、米田副会長、勝亦委員、工藤委員、山崎委員、若生委員、立木委員、初貝委員
事務局	保育管理係(福島、井添、武田)
使用資料	別紙参照

議事録

PT立ち上げの経緯や全体スケジュール、並行して進める需要調査について説明。
配布資料についての質疑の後に、各委員による意見交換を実施。

【意見交換(主な意見)】

■区立幼稚園の役割・教育について

- ・区立幼稚園は地域における幼児教育センターとしての役割があり、リーダーシップを発揮していかなくてはならない。
- ・先の幼稚園教育要領と保育所保育指針の改訂により、3歳以上の幼児教育は保育園も幼稚園も同じ内容が記載された。区では改訂前から、保護者の就労状況に関わらず、「子どもが通いたい園に通えるようにする」という考えのもと幼児教育を行ってきたため、幼稚園と保育園の教育内容に差はない。
- ・区立幼稚園と区立保育園の横の連携、および小学校との縦の連携(保幼小連携)が円滑に行われている。特に幼稚園と保育園の強い関係性は他区にはない強みである。

■区立幼稚園の入園希望者減少の要因について

- ・認可保育園数の増加と幼稚園希望者の減少に相関関係がある可能性がある。
- ・私立幼稚園の方が、施設の新しさや、バス送迎等のサービス面を理由に保護者に選ばれている可能性がある。
- ・保護者が卒園後の進路を考えて、幼稚園を選択する傾向にあると感じる。
⇒需要調査の結果から検証していく。

次回以降について

- ・次回は10月を予定。
- ・参考データを確認しながら議論をさらに深めていく。